

簡易生命保険誕生100周年 / NHK交響楽団創立90周年

JP **かんぽ生命** presents
INSURANCE

100th
簡易保険誕生



NHK SYMPHONY ORCHESTRA
1926-2016

N響

第九

Special Concert

バッハ (デュプレ編)
カンタータ「神よ、あなたに感謝をささげます」BWV29—シンフォニア
ベートルス
コラール前奏曲「輝く暁の星の麗しさよ」作品68-7
ヴォドール
「バッハの思い出」—「夜警の行進」
(バッハ「目を覚ませと呼ぶ声が聞こえ」BWV645)による
オルガンのための交響曲 第5番 ヘ短調 作品42-1—「トッカータ」
勝山雅世 / オルガン

ベートーヴェン

交響曲 第9番 二短調
作品125「合唱つき」

ヘルベルト・ブロムシュテット / 指揮

シモーナ・シャトウロヴァ / ソプラノ エリーザベト・クールマン / アルト
ホエル・プリエト / テノール パク・ジョンミン / バリトン
東京オペラシンガーズ / 合唱

©Martin U. K. Lengemann



2016年12月27日(火) 7:00pm サントリーホール

前売開始: 10月3日(月) 10:00am

定期会員先行発売日: 9月20日(火) 10:00am [会員割引10%]

● ¥17,500 ● ¥14,500 ● ¥11,500 ● ¥8,000

ユースチケット (25歳以下) C ¥6,000 (税込)

お問い合わせ: N響ガイド 03-5793-8161

(平日10:00am~6:00pm、9/26・10/17・11/21・12/12は休業)

主催: NHK交響楽団 特別協賛: 株式会社かんぽ生命保険

〈前売所〉

- N響ガイド … 03-5793-8161 ● WEBチケットN響 … <http://www.nhkso.or.jp>
- サントリーホール チケットセンター …… 0570-55-0017
- チケットぴあ …… 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/nhkso> [Pコード:299-168]
- e+ (イープラス) …… <http://eplus.jp/nhkso>
- ローソンチケット …… 0570-000-407 <http://l-tike.com/nhkso> [Lコード:32786]

※ユースチケットのお取り扱いにはN響ガイドのみ(来場時に25歳以下の証明となるものをご提示いただきます)。

※定期会員割引・先行発売はWEBチケットN響およびN響ガイドのみ。

※早いす席をご希望の方は、N響ガイドへお問い合わせください。

かんぽ生命は、簡易生命保険の業務を受託し、
保険金等のお支払いや保険料の収納等のサービスを提供しています。



かんぽ生命

N響第九 *Special Concert*

年の瀬に響く平和への調べ

柴辻純子

日本では年末の演奏が恒例となっているベートーヴェンの《交響曲第9番》ですが、終楽章に声楽が入る、この壮大な交響曲は、ドイツの詩人シラーの頌詩「歓喜に寄す」を歌詞に用いて、人類の平和を願って作曲されました。なかでも独唱、合唱、オーケストラが一体となったフィナーレは圧倒的で、大きな感動をもたらしてくれます。

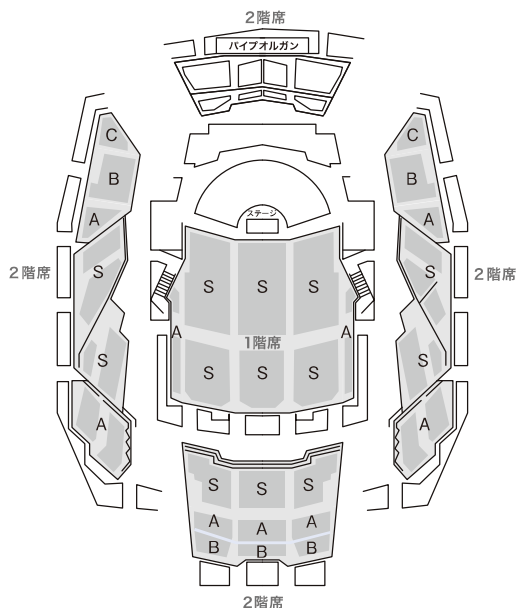
N響創立90周年の今年、1927年生まれの巨匠ヘルベルト・ブロムシュテットが指揮を務めます。名誉指揮者のブロムシュテットは、N響と数々の名演を残していますが、《第九》を指揮するのは、実に31年ぶりとなります。格調高い端正な音楽を作り上げるマエストロと共演するのは、世界の音楽界で注目を集める4人の歌手たち。ソプラノのシャトゥロヴァは深く艶のある声が美しく、アルトのクールマンも魅力的な声の持ち主です。テノールのプリエトはその容姿と甘い声で聴衆を魅了し、バリトンのパクはチャイコフスキー国際コンクール優勝の実力派です。

さらにこの公演の前半では、パイプオルガンでバッハやヴィドールのオルガン曲が演奏されます。サントリーホールのパイプオルガンの壮麗な響きはもちろんのこと、溢れるばかりのまばゆい音に包まれるような感覚は、客席でしか味わえない、特別な体験といえるでしょう。

何かと慌ただしい年の瀬ですが、今年1年に思いを巡らせながら音楽に耳を傾ける贅沢なひととき。世界的な名匠と最高のソリスト、合唱を迎えてのN響「第九」に胸が高鳴ります。

(しばつじ・じゅんこ/音楽評論家)

座席表



サントリーホールへのアクセス

東京メトロ六本木一丁目・溜池山王各駅より徒歩5~7分

ヘルベルト・ブロムシュテット / 指揮 Herbert Blomstedt, conductor

1927年にアメリカで生まれ、その後、両親の祖国スウェーデンに移住した。ストックホルム王立音楽院からウプサラ大学に進み、さらにジュリアード音楽院で指揮法、パーゼル音楽院で古楽を学んだ。1954年ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団を指揮してデビュー。オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、デンマーク放送交響楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団の首席指揮者を歴任した。1985年からサンフランシスコ交響楽団、1996年から北ドイツ放送交響楽団、1998年からライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の、それぞれ音楽監督を務めた。NHK交響楽団には1981年から客演を重ね、現在は同楽団名誉指揮者の称号を贈られている。2016年、日本放送協会放送文化賞を受賞。



©Martin U. K. Lengemann

シモーナ・シャトゥロヴァ / ソプラノ Simona Šaturová, soprano

スロバキアのプラチスラヴァ音楽院で学び、1994~1998年ブラハ国立歌劇場に所属。その後、フランクフルト歌劇場、モンテカルロ歌劇場、ベルギー王立モネ劇場等でモーツァルトやヴェルディのオペラに出演するほか、2009年ローマ法王ベネディクト16世に招かれ、システーナ礼拝堂でモーツァルト《ミサ曲ハ短調》のソリストを務めた。コンサートではクリストフ・エッセンバッハ、マンフレート・ホーネックら著名な指揮者と多数共演している。



©Tomas Houđa

エリーザベト・クールマン / アルト Elisabeth Kulman, alto

ウィーン国立音楽大学でヘレナ・ラザルスカに師事。2001年ウィーン・フォルクスオーパーに《魔笛》パミーナ役でデビューした。2005年からメゾ・ソプラノに転向し、2010年までウィーン国立歌劇場のアンサンブル・メンバー。コンサートではニコラウス・アーノンクール、キリル・ペトレンコ、クリスティアン・ティエレマンら世界的な指揮者と共演を重ね、近年は、ジャズ・カルテットとの共演やビートルズ作品に取り組みなど活躍の幅を広げている。



©Stephen Polzer

ホエル・プリエト / テノール Joel Prieto, tenor

マドリッド生まれ。4歳で母親の祖国プエルトリコに移住した。ニューヨークのマンハッタン音楽院で学び、バリ・オペラ座のアトリエ・リリックのメンバーを経て、2006年ベルリン・ドイツ・オペラに《魔笛》タミーノ役でデビュー。2008年ブラジッド・ドミンゴ世界オペラ・コンクール第1位およびサルスエラ賞と文化賞を受賞した。コンサートのソリストとしてファビオ・ルイーダ、ヤニック・ネゼ・セガン、ダニエ・ガッティら気鋭の指揮者と共演している。



©Simon Pauly

パク・ジョンミン / バリトン Jongmin Park, baritone

韓国芸術総合学校で学ぶ。2007年ミラノ・スカラ座のアカデミー生に選ばれ、ミレツァ・フレニ、レナート・ブルゾンらに師事した。2010~2013年ハンブルク州立歌劇場のメンバー。2011年、第14回チャイコフスキー国際コンクール男声総合部門第1位。同年ウィーン国立歌劇場に《ゴエム》コルリーネ役でデビューした。チョン・ミョンファン指揮のベートーヴェン《交響曲第9番》や《ハ長調ミサ曲》のソリストをはじめ、コンサートでも広く活躍する。



勝山雅世 / オルガン Masayo Katsuyama, organ

大阪教育大学作曲科、東京藝術大学音楽学部オルガン科を卒業し、同大学院古楽科修了。2002~2005年パーゼル・スコラ・カントゥルムに留学。2003年オランダ・シュニットガー国際オルガンコンクール第3位入賞。2007年からヘンデル・フェスティバル・ジャパンの通奏低音を担当。2015年、同団体《アレクサンダーの饗宴》公演に、通奏低音奏者およびオルガン協奏曲の独奏者として参加し、「第23回三菱UFJ信託音楽賞」を受賞。



東京オペラシンガーズ / 合唱 Tokyo Opera Singers, chorus

1992年に「世界的水準のコラスを」という小澤征爾の要請を受けて、東京を中心に活動する声楽家によって結成。翌年からサイトウ・キネン・フェスティバル松本(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)、東京・春・音楽祭等に継続的に出演する。ベートーヴェン《交響曲第9番》は、1998年長野冬季オリンピック開会式、2011年ズーピン・メータ指揮、N響の東日本大震災チャリティーコンサートをはじめ、海外オーケストラの来日公演でも共演し、高い評価を得ている。